



『まえだとし女 全句』

鰻見る嵐の前のしづけさに  
釣り物と書かれし鯨に感じ入る  
暑き秋開きとなりし鮎 伊佐木

まえだとし女

展覧会ボタンひとつが外れをり  
おかみさんこどもの二役秋うらら  
再来年の学芸会へ花野道  
浄水場見学今も朝涼し  
小学生二台に分れ夏木立  
爽やかや「浄水場でございます」  
桜紅葉待たずに座るだんご店  
しめぢまで園に持たせし芋煮かな  
煮染め芋目で推し量る味加減  
震災忌父を負ひたる伯母の事  
生姜市芝でもとめし紺の帯

『まえだとし女 全句』

